

基本目標 6 環境教育を通じた環境の人づくり

本県の豊かな自然環境を将来世代へ継承するとともに、限りある資源を有効に活用し、持続可能な社会を形成していくためには、すべての県民が環境とのかかわりについての正しい認識と理解を深め、日常生活や事業活動において自らが率先して環境に配慮した行動を実践していくことが不可欠です。

このため、本県では、環境学習・環境保全活動に参加する県民の数を平成32年度までに14万8千人とすることを目標に掲げ、これまで、やまがた緑環境税を活用した県民参加の森づくり活動の推進や環境学習支援団体（環境の保全に関する情報の提供、体験の機会の提供等を通じて県民の環境学習を支援している民間団体を知事が認定するもの）の認定、環境科学研究センターの利用促進などに取り組んできました。

こうした取り組みにより、環境学習・環境保全活動への参加者数は、平成28年度で16万人となり、目標を前倒して達成しました。このため、中間見直しにおいて目標数値の見直しを行い、平成32年度までに16万7千人としました。

1 環境保全活動の顕彰

(1) 環境やまがた大賞

地球環境や地域環境に関する活動において、功績のあった個人又は団体（企業を除く。）を知事が顕彰するものです。

【平成28年度受賞団体】

◆環境やまがた大賞：

特定非営利活動法人家根合（かねあい）生態系保全活動センター（庄内町）

…家根合地区のほ場整備事業でメダカの保全池が整備されたことを端緒に、地元小学生に対して地域一体となった環境教育を実施。また、メダカを放流した水田で栽培した『メダカ米』やメダカ米のお酒を販売し、地域産業にも寄与。



家根合生態系保全活動センター
（メダカの放流）

◆環境やまがた奨励賞：やまがたヤマネ研究会（山形市）

…県内に生息する野生動物の保護及び生息地の保全に関する調査研究を行うとともに、その研究成果を活かした体験型の環境教育活動を実施。

(2) 環境保全推進賞

県内の企業又はその従業員の先駆的な環境保全の取り組みや地域貢献の取り組みを山形県環境保全協議会が顕彰するものです。

【平成28年度受賞団体】

◆山形県知事賞：酒井鈴木工業株式会社（酒田市）

◆環境保全推進賞：岡崎医療株式会社（山形市）、
ネットトヨタ山形株式会社（山形市）、ルネサスセミコンダクタパッケージ&テストソリューションズ株式会社電子機器部（米沢市）

◆選考委員特別賞：有限会社高山工務店（米沢市）



環境保全推進賞受賞者のみなさん

2 山形県環境科学研究センターの取組み

- 環境科学研究センターでは、環境モニタリング、試験研究、人材育成等の機能とともに、環境教育拠点施設として、県民による自主的で活発な環境保全活動が展開されるよう施設・設備を開放し、親子で楽しむ環境科学体験デーや夏休み親子科学教室を開催するとともに、環境教育教材の貸出し、出前講座の開催、環境アドバイザー等の派遣、水生生物調査への参加呼びかけ等を通じて環境意識の醸成を図っています。

(1) 環境教育

環境教育に関する相談窓口の開設、環境関連の図書やDVD等の展示・貸出、体験学習の支援など

《環境情報・自然環境棟開放時間》

平日の午前9時～午後5時



(2) 環境教室

学校、団体、市町村教育委員会主催研修会などを対象とした出前講座の実施

【平成28年度実績】

45回（1,039名参加）

《講座例》

- ◆水生生物調査
- ◆太陽光発電所・研究棟見学案内



(3) 環境アドバイザー等の派遣

環境、エネルギーに関する専門的な知見を有する環境アドバイザーや地球温暖化防止活動推進員の派遣

【平成28年度実績】

77回（4,456名参加）

《講座例》

- ◆地球温暖化の原因・現状・今後私たちができること
- ◆リサイクル、水生生物、ネイチャーゲーム、エコクッキング



(4) 親子で楽しむ環境科学体験デー

環境月間（6月）推進事業の一環として、環境への関心を深めるとともに、環境科学研究センターの業務や施設を県民に広く周知することを目的に平成15年度から毎年開催

【平成28年度実績】

6月25日開催（入場者延べ364名）

《実施内容》

- ◆「スライムをつくろう!」、「シャボン玉であそぼう!」、「手廻し発電体験!」などの実験・体験コーナー
- ◆「センター研究施設」、「水辺の生き物観察」などの展示・見学コーナー



3 山形県環境学習支援団体の認定


- 環境の保全に関する情報の提供、体験の機会の提供等を通じて県民の環境学習を支援している民間団体を認定し、広く紹介することにより、県民の環境学習の機会の拡大を図るとともに、環境の保全の意欲の増進を図ることを目的として、平成16年度から、山形県環境学習支援団体の認定を行っています。
- 平成28年度末現在で、35団体を認定し、県ホームページ等において、各認定団体の活動について紹介するほか、やまがた環境展2016にブース出展し、来場者に団体の提供する環境学習内容を体験いただいた他、活動内容をPRしました。

地域別分類	
村山地域	21団体
最上地域	5団体
置賜地域	4団体
庄内地域	5団体


主な分野別分類	
エネルギー	9団体
自然環境	13団体
省エネ	3団体
地球温暖化	5団体
リサイクル	5団体

- 平成28年度に新規認定された団体を紹介します。

【地球温暖化分野】

環境学習の内容	活動の様子
<p>ネットヨク山形株式会社（山形市）</p> <p>小学生を対象とした「日本の自動車産業と環境」「地球温暖化防止とエコドライブ」をテーマとする講座により、「環境とお財布」にやさしいエコドライブや排気ガス抑制などについて学習</p>	

【自然環境分野】

環境学習の内容	活動の様子
<p>やまがたヤマネ研究会（山形市）</p> <p>山形県に生息する野生動物の調査体験・生態観察・標本観察などを通し、野生動物と人との問題（「希少種問題」・「外来種問題」・「獣害問題」）について学習</p>	

【エネルギー分野】

環境学習の内容	活動の様子
<p>株式会社メコム（山形市）</p> <p>メガソーラー発電所内見学による再生可能エネルギーや蓄電システムの仕組み、環境教育映像の視聴による自然保護の大切さを学習 （敷地面積2.3ha、パネル4,176枚、年間発電量約330世帯分）</p>	
<p>ソーラーワールド株式会社（天童市）</p> <p>太陽光発電100%の電力で建築し、太陽光、バイオマスなど再生可能エネルギーを多く取り入れた事務所見学を通し、再生可能エネルギーの必要性や地域との関わりについて学習</p>	
<p>株式会社POWER E NEXT（天童市）</p> <p>太陽光発電所の見学を通し、再生可能エネルギーや大規模太陽光発電の仕組み、パネルの設置角度や季節による発電量変化を学習 （敷地面積4.2ha、パネル9,108枚、年間発電量約320世帯分）</p>	
<p>やまがた自然エネルギーネットワーク（東根市）</p> <p>太陽光、小水力、風力、バイオマス等、地域に適した自然エネルギーの利用方法や、農家が取り組む田んぼのソーラーシェアリング（※1）などを学習</p>	
<p>東北おひさま発電株式会社（長井市）</p> <p>大規模太陽光発電設備の見学と遠隔管理システムを使った発電量等の公開による、積雪地帯における太陽光発電事業の実態を学習 （敷地面積4.0ha、パネル6,552枚、年間発電量約500世帯分）</p>	
<p>加藤総業株式会社（酒田市）</p> <p>遊佐風力発電所は、日本で2番目にできた出力変動緩和制御型（※2）の風力発電所（7基）であり、風力発電設備、鉛蓄電池施設の見学による風力発電の仕組みを学習 （1基当たり年間発電量約1,450世帯分）</p>	

※1 田んぼ等に太陽光パネルを設置することで、営農をしながら太陽光発電をするもの。

※2 風力の強弱による発電量のばらつきを小さくするシステム。

もっと詳しく知りたい方へ

環境白書の全文は、山形県ホームページで御覧いただけます。

《県ホームページ掲載先》

組織で探す ⇒ 環境エネルギー部 ⇒ 環境企画課
⇒ 山形県の環境白書・環境白書概要版

《URL》

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/050015/seisaku/kankyohakusyo.html>

平成29年版山形県環境白書 概要版
山形県の環境

平成29年12月発行
山形県環境エネルギー部環境企画課
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号
電 話 023-630-2308
F A X 023-630-2133

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。